

# 調査結果の概要



## 1 学校調査

### (1) 小学校

#### ア 学校数

学校数は465校(本校451校、分校14校)で、前年に比べ2校増加した。これは、南が丘小学校(津市)と百合が丘小学校(名張市)が新設されたことによる。(表1)

表1 小学校の設置者別学校数

	総 数			国 立			公 立			私 立
	計	本 校	分 校	本 校	計	本 校	分 校	本 校		
昭和50年	470	436	34	1	468	434	34	1		
55	459	439	20	1	457	437	20	1		
60	464	447	17	1	462	445	17	1		
63	464	448	16	1	462	446	16	1		
平成元	462	448	14	1	460	446	14	1		
2	461	447	14	1	459	445	14	1		
3	463	449	14	1	461	447	14	1		
4	465	451	14	1	463	449	14	1		
対前年比較	2	2	0	0	2	2	0	0		

#### イ 学級数、児童数

学級数は4,955学級で、前年に比べ14学級減少した。その内訳をみると、複式学級が3学級、75条の学級が12学級増加したのに対して、単式学級が29学級減少した。なお、単式学級が全学級数に占める割合は91.9%で、前年に比べて0.3%減少した。

児童数は133,264人(男67,916人、女65,348人)で、前年に比べ1,565人減少した。1学級当たりの児童数を学級編制方式別にみると、単式学級28.9人、複式学級10.5人、75条の学級2.0人となっており、前年と比べるといずれの学級でも減少している。

表2 小学校の学級編制方式別学級数、児童数

単位(児童数:人)

	総 数			単 式 学 級			複 式 学 級			75条の学級		
	学級数	児童数	1学級当たりの児童数	学級数	児童数	1学級当たりの児童数	学級数	児童数	1学級当たりの児童数	学級数	児童数	1学級当たりの児童数
昭和50年	4,823	147,873	30.7	4,560	145,984	32.0	88	923	10.5	175	966	5.5
55	5,327	167,768	31.5	5,055	166,088	32.9	66	685	10.4	206	995	4.8
60	5,253	160,038	30.5	4,916	158,228	32.2	82	892	10.9	255	918	3.6
63	4,968	141,956	28.6	4,607	140,210	30.4	94	1,056	11.2	267	690	2.6
平成元	4,968	138,780	27.9	4,589	137,036	29.9	99	1,085	11.0	280	659	2.4
2	4,988	136,719	27.4	4,598	134,997	29.4	100	1,076	10.8	290	646	2.2
3	4,969	134,829	27.1	4,582	133,198	29.1	96	1,022	10.6	291	609	2.1
4	4,955	133,264	26.9	4,553	131,620	28.9	99	1,044	10.5	303	600	2.0
対前年比較	-14	-1,565	-0.2	-29	-1,578	-0.2	3	22	-0.1	12	-9	-0.1

ウ 教員数

本務教員数は7,455人(男2,971人、女4,484人)で、前年に比べ51人(0.7%)増加した。

本務教員数の男女の比率は、男子39.9%、女子60.1%で、女子の占める割合は前年よりさらに高くなっている。

また、本務教員1人当たりの児童数は、17.9人となり前年に引き続き減少している。

(表3)



表3 小学校の本務教員数

単位(教員数・児童数:人、割合:%)

	総数	男	女	女子教員の	教員1人当
				占める割合	たりの児童数
昭和50年	6,421	2,918	3,503	54.6	23.0
55	7,314	3,252	4,062	55.5	22.9
60	7,464	3,353	4,111	55.1	21.4
63	7,234	3,178	4,056	56.1	19.6
平成元	7,305	3,133	4,172	57.1	19.0
2	7,379	3,088	4,291	58.2	18.5
3	7,404	3,020	4,384	59.2	18.2
4	7,455	2,971	4,484	60.1	17.9
対前年比較	51	-49	100	0.9	-0.3

(2) 中学校

ア 学校数

学校数は191校(本校188校、分校3校)で、前年に比べ1校増加した。これは、南が丘中学校(津市)が新設されたことによる。(表4)

表4 中学校の設置者別学校数

	総数			国立		公立			私立	
	計	本校	分校	本校	分校	計	本校	分校	本校	分校
昭和50年	196	187	9	1		188	179	9	7	
55	184	180	4	1		175	171	4	8	
60	190	186	4	1		180	176	4	9	
63	191	187	4	1		180	176	4	10	
平成元	191	188	3	1		180	177	3	10	
2	190	187	3	1		179	176	3	10	
3	190	187	3	1		179	176	3	10	
4	191	188	3	1		180	177	3	10	
対前年比較	1	1	0	0		1	1	0	0	

イ 学級数、生徒数

学級数は2,236学級で、前年に比べ60学級減少した。学級編制方式別にみると、75条の学級が8学級増加したのに対し、単式学級は68学級減少している。また、75条の学級の全学級数に占める割合は5.5%で、前年に比べ0.4%増加している。

生徒数は74,039人(男37,916人、女36,123人)で、前年に比べ2,294人(3.0%)減少した。また、1学級当たりの生徒数は単式学級34.9人、75条の学級2.6人であった。(表5)

表5 中学校の学級編制方式別学級数、生徒数

単位(生徒数:人)

	総数			単式学級			75条の学級		
	学級数	生徒数	1学級当たりの生徒数	学級数	生徒数	1学級当たりの生徒数	学級数	生徒数	1学級当たりの生徒数
昭和50年	1,942	70,636	36.4	1,853	70,124	37.8	89	512	5.8
55	1,977	72,259	36.5	1,886	71,827	38.1	91	432	4.7
60	2,333	86,685	37.2	2,216	86,183	38.9	117	502	4.3
63	2,391	85,987	36.0	2,274	85,630	37.7	117	357	3.1
平成元	2,366	82,103	34.7	2,251	81,769	36.3	115	334	2.9
2	2,335	78,717	33.7	2,225	78,397	35.2	110	320	2.9
3	2,296	76,333	33.2	2,180	75,991	34.9	116	342	2.9
4	2,236	74,039	33.1	2,112	73,716	34.9	124	323	2.6
対前年比較	-60	-2,294	-0.1	-68	-2,275	0	8	-19	-0.3

### ウ 教員数

本務教員数は4,452人(男2,621人、女1,831人)で、前年に比べ75人減少した。

本務教員数の男女の比率は、男子58.9%、女子41.1%で、女子の占める割合は前年よりさらに高くなっている。

また、本務教員1人当りの生徒数は16.6人で、前年に引き続き減少している。(表6)

表 6 中 学 校 の 本 務 教 員 数

単位(教員数・生徒数:人、割合:%)

	総 数	男	女	女子教員の 占める割合	教員1人当 りの生徒数
昭和50年	3,584	2,403	1,181	33.0	19.7
55	3,770	2,366	1,404	37.2	19.2
60	4,388	2,757	1,631	37.2	19.8
63	4,530	2,816	1,714	37.8	19.0
平成元	4,503	2,767	1,736	38.6	18.2
2	4,524	2,720	1,804	39.9	17.4
3	4,527	2,685	1,842	40.7	16.9
4	4,452	2,621	1,831	41.1	16.6
対前年比較	-75	-64	-11	0.4	-0.3

### (3) 高等学校(通信制は除く)

#### ア 学校数

学校数は81校で前年と変わらなかった。

課程別にみると、全日制64校(公立51校、私立13校)、定時制4校(公立3校、私立1校)、併置校13校(公立11校、私立2校)となっている。(表7)

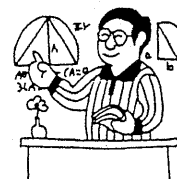


表 7 高 等 学 校 の 設 置 者 別 学 校 数

	総 数	公 立						私 立				
		計	本 校			分 校			計	本 校		
			全 日 制	定 時 制	併 置	全 日 制	定 時 制	全 日 制		定 時 制	併 置	
昭和50年	71	57	40	4	11	2	-	14	9	1	4	
55	75	60	44	4	10	2	-	15	12	1	2	
60	78	63	47	4	10	2	-	15	12	1	2	
63	81	65	50	3	11	1	-	16	13	1	2	
平成元	81	65	50	3	11	1	-	16	13	1	2	
2	81	65	50	3	11	1	-	16	13	1	2	
3	81	65	50	3	11	1	-	16	13	1	2	
4	81	65	50	3	11	1	-	16	13	1	2	
対前年比較	0	0	0	0	0	0	-	0	0	0	0	

#### イ 生徒数

生徒数は74,445人(男37,652人、女36,793人)で、前年に比べ2,977人(3.8%)減少した。設置者別では、公立が59,683人で80.2%(3年80.3%)を占め、私立は14,762人で19.8%(3年19.7%)となっており、私立の占める割合が前年よりも少し高くなっている。課程別では、全日制が73,111人で98.2%(3年98.1%)を占め、定時制は1,334人で1.8%(3年1.9%)となっている。(表8)

表 8 高等学校の生徒数

単位：人

	総 数			本 科								専攻科	別 科
	計	全日制	定時制	計	普通科	農業科	工業科	商業科	水産科	家庭科	その他		
昭和50年	63,507	59,911	3,596	63,432	39,027	2,192	7,093	8,178	377	5,548	1,017	65	10
55	68,746	66,450	2,296	68,656	45,294	2,285	6,749	7,773	403	5,132	1,020	78	12
60	73,206	71,368	1,838	73,113	50,497	2,283	6,999	7,940	411	3,958	1,025	80	13
63	76,822	75,045	1,777	76,702	53,411	2,282	7,149	8,065	393	3,760	1,642	115	5
平成元	79,172	77,442	1,730	79,052	55,225	2,399	7,013	8,025	412	3,783	2,195	110	10
2	78,937	77,291	1,646	78,832	55,213	2,414	7,158	7,651	415	3,715	2,266	105	-
3	77,422	75,981	1,441	77,317	54,414	2,328	7,082	7,359	387	3,485	2,262	105	-
4	<b>74,445</b>	<b>73,111</b>	<b>1,334</b>	<b>74,340</b>	<b>52,416</b>	<b>2,231</b>	<b>6,924</b>	<b>7,102</b>	<b>360</b>	<b>3,062</b>	<b>2,245</b>	<b>105</b>	-
公立	59,683	58,460	1,223	59,593	38,439	2,167	6,924	6,961	360	3,027	1,715	90	-
私立	14,762	14,651	111	14,747	13,977	64	-	141	-	35	530	15	-
対前年比較	-2,977	-2,870	-107	-2,977	-1,998	-97	-158	-257	-27	-423	-17	0	-

表 9 高等学校の本務教員数

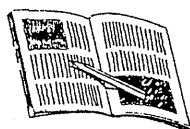
単位 (教員数・教員1人当たりの生徒数：人、割合：%)

ウ 教員数

本務教員数は4,361人(男3,412人、女949人)で、前年に比べ22人(0.5%)減少した。

設置者別では、公立が3,602人(男2,829人、女773人)で82.6%(3年82.9%)を占め、私立が759人(男583人、女176人)で17.4%(3年17.1%)となっている。

また、本務教員1人当たりの生徒数をみると、総数では17.1人(3年17.7人)、公立は16.6人(3年17.1人)、私立は19.4人(3年20.3人)となっている。(表9)



	総 数	男	女	女子教員の 占める割合	教員1人当た りの生徒数
昭和50年	3,462	2,812	650	18.8	18.3
55	3,684	2,943	741	20.1	18.7
60	4,004	3,207	797	19.9	18.3
63	4,208	3,381	827	19.7	18.3
平成元	4,315	3,421	894	20.7	18.3
2	4,411	3,476	935	21.2	17.9
3	4,383	3,457	926	21.1	17.7
4	<b>4,361</b>	<b>3,412</b>	<b>949</b>	<b>21.8</b>	<b>17.1</b>
公立	3,602	2,829	773	21.5	16.6
私立	759	583	176	23.2	19.4
対前年比較	-22	-45	23	0.6	-0.6

(4) 盲学校、聾学校、養護学校

学校数は、盲学校1校(公立)、聾学校1校(公立)、養護学校15校(国立1校、公立13校、私立1校)で、昨年と変わらなかった。

在学者数は、盲学校44人、聾学校87人、養護学校890人で、前年に比べ盲学校は7人、聾学校は5人、養護学校は44人減少した。

また、本務教員数は、盲学校43人(公立)、聾学校61人(公立)、養護学校562人(国立27人、公立526人、私立9人)で、前年に比べ盲学校と聾学校は3人、養護学校は41人増加した。(表10)

表10 盲学校、聾学校、養護学校の学校数、在学者数、本務教員数

単位 (在学者数・教員数：人)

	盲 学 校			聾 学 校			養 護 学 校		
	学 校 数	在 学 者 数	本 務 教 員 数	学 校 数	在 学 者 数	本 務 教 員 数	学 校 数	在 学 者 数	本 務 教 員 数
昭和50	1	100	35	1	176	54	4	455	117
55	1	106	40	1	160	52	9	854	302
60	1	81	39	1	112	49	9	949	339
63	1	76	38	1	98	55	10	967	371
平成元	1	76	38	1	91	51	11	966	405
2	1	69	40	1	80	51	11	951	442
3	1	51	40	1	92	58	15	934	521
4	1	44	43	1	87	61	15	890	562
対前年比較	0	-7	3	0	-5	3	0	-44	41

(5) 幼稚園

ア 幼稚園数

幼稚園数は274園で、前年に比べ1園増加した。これは、梅が丘幼稚園（名張市）が新設されたことによる。

設置者別にみると、国立1園（0.4%）、公立210園（76.6%）、私立63園（23.0%）となっている。私立をさらに設置者別にみると、学校法人56園（88.9%）、宗教法人7園（11.1%）となっている。（表11）

イ 園児数

園児数は25,617人で、前年に比べ68人（0.3%）減少した。設置者別では、公立が11,833人で46.2%を占め、私立は13,633人で53.2%、国立は151人で0.6%となっている。（表11）

ウ 教員数

本務教員数は1,484人（男39人、女1,445人）で、前年に比べ14人増加した。本務教員1人当たりの園児数は17.3人で、前年に比べ0.2人減少している。また、本務教員のうち、女子の占める割合は97.4%であった。（表11）

表11 幼稚園の園数、学級数、園児数、本務教員数

単位（園児数・教員数：人）

	園 数			学 級 数	園 児 数			本 務 教 員 数
	総 数	国・公立	私 立		総 数	男	女	
昭和50年	243	193	50	864	26,846	13,745	13,101	1,120
55	261	208	53	982	29,005	14,730	14,275	1,371
60	270	211	59	945	25,524	12,958	12,566	1,373
63	272	211	61	997	25,775	13,092	12,683	1,421
平成元	272	211	61	1,017	26,188	13,274	12,914	1,447
2	274	212	62	1,005	26,174	13,263	12,911	1,469
3	273	211	62	1,027	25,685	13,060	12,625	1,470
4	274	211	63	1,022	25,617	13,129	12,488	1,484
対前年比較	1	0	1	-5	-68	69	-137	14

エ 就園率

平成4年3月の幼稚園修了者（義務教育就学年齢に達したため卒園した者）は12,850人で、前年に比べ339人減少した。

就園率（小学校1年生のうち幼稚園を修了した者の割合）は60.9%で、前年より上昇している。（表12）

表12 就園率

単位（小学校1年生・前年度修了者：人、就園率：%）

	小学校1年生	前年度修了者	就園率
昭和50年	26,492	11,096	41.9
55	29,001	18,879	65.1
60	24,147	15,054	62.3
63	21,233	13,118	61.8
平成元	21,979	13,516	61.5
2	22,427	13,620	60.7
3	21,806	13,189	60.5
4	21,115	12,850	60.9
対前年比較	-691	-339	0.4

$$\text{（就園率）} = \frac{\text{前年度修了者}}{\text{小学校1年生}} \times 100$$



(6) 専修学校

学校数は42校で、全体の校数は前年と変わらなかったが、内訳では公立、私立がそれぞれ1校廃止され、私立が2校新設されたことにより公立が1校減少し、私立が1校増加している。

生徒数は、5,684人（男2,514人、女3,170人）で、前年に比べ60人増加した。

学科別にみると、高等課程が2,889人で50.8%と最も多く、ついで専門課程の2,671人で47.0%、一般課程の124人で2.2%などとなっている。

教員数は、本務者が412人で前年に比べて4人増加し、兼務者が1,045人で93人増加した。（表13、表14）

表 1 3 専修学校の学校数、生徒数、教員数

単位 (生徒数・教員数:人)

	学 校 数				生 徒 数			教 員 数	
	総 数	国 立	公 立	私 立	総 数	男	女	本 務 者	兼 務 者
昭和51年	22	1	1	20	3,490	486	3,004	206	280
55	25	4	1	20	3,450	368	3,082	242	554
60	34	4	2	28	3,642	593	3,049	276	907
63	41	4	2	35	4,844	1,555	3,289	339	1,014
平成 元	41	4	2	35	5,451	1,944	3,507	357	990
2	41	4	2	35	6,138	2,455	3,683	366	991
3	42	3	2	37	5,624	2,389	3,235	408	952
4	42	3	1	38	5,684	2,514	3,170	412	1,045
対前年比較	0	0	-1	1	60	125	-65	4	93

(注) 1. 専修学校制度は、昭和51年から。

2. 昭和51年の学校数 (国立) には、文部省以外の省庁が設置した学校を含んでいない。

表 1 4 専修学校の課程別生徒数

単位:人

	総 数			国 立			公 立			私 立		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
総 数	5,684	2,514	3,170	278	6	272	163	10	153	5,243	2,498	2,745
高 等 課 程	2,889	1,958	931	-	-	-	-	-	-	2,889	1,958	931
専 門 課 程	2,671	524	2,147	278	6	272	163	10	153	2,230	508	1,722
一 般 課 程	124	32	92	-	-	-	-	-	-	124	32	92



(7) 各種学校

学校数は 156校で、前年に比べ 1校減少した。これは、私立学校において 1校廃止されたことによる。

生徒数は 9,842人 (男 3,561人、女 6,281人) で、前年に比べ 234人減少した。生徒数の男女の比率は男子36.2%、女子63.8%で、前年に比べ男子の比率がわずかに上昇している。

教員数は、前年に比べ本務者が 479人で15人減少し、兼務者が 419人で33人増加した。(表 1 5)

表 1 5 各種学校の学校数、生徒数、教員数 単位(生徒数・教員数:人)

	学 校 数				生 徒 数			教 員 数	
	総 数	国 立	公 立	私 立	総 数	男	女	本 務 者	兼 務 者
昭和50年	222	1	9	212	21,806	5,014	16,792	872	1,248
55	186	-	6	180	15,340	5,110	10,230	609	804
60	169	-	4	165	12,155	4,205	7,950	532	449
63	165	-	4	161	11,257	4,035	7,222	502	420
平成元	164	-	4	160	10,702	3,762	6,940	494	410
2	160	-	3	157	10,473	3,744	6,729	498	441
3	157	-	3	154	10,076	3,639	6,437	494	386
4	156	-	3	153	9,842	3,561	6,281	479	419
対前年比較	-1	-	0	-1	-234	-78	-156	-15	33

2 卒業後の状況調査

(1) 中 学 校

ア 卒 業 者

平成4年3月の卒業者は26,115人(男13,535人、女12,580人)で、前年に比べ1,202人減少した。卒業後の進路別にみると、進学者(就職して進学した者を含む。)は25,344人で全体の97.0%、専修学校等入学者(就職して入学した者を含む。)は142人で0.5%、就職者は533人で2.0%、その他の者(無業者、死亡、不詳)は96人で0.4%となっている。(表16)

イ 進 学 者

進学者は25,344人で、前年に比べ681人減少した。進学率をみると97.0%となり、前年より1.7ポイント上昇した。また、高等学校本科通信制課程への進学者(693人)を除く進学率は94.4%であった。(表16)



表 1 6 中 学 校 の 進 路 別 卒 業 者 数

単位(卒業者:人、進学率・就職率・構成比:%)

	総 数	進 学 者 (A)	専修学校 等 入学者 (B)	就 職 者 (C)	そ の 他 (D)	再 掲		進 学 率		就 職 率
						Aのうち就職 している者 (E)	Bのうち就職 している者 (F)	(A)	(A)から通 信制課程を除 く	
昭和50年	23,203	21,325	...	1,108	770	340	...	91.9	...	6.2
55	25,616	23,870	692	945	109	190	36	93.2	...	4.6
60	27,231	25,269	714	1,095	153	240	27	92.8	92.5	5.0
63	29,695	27,474	1,021	981	219	224	12	92.5	91.5	4.1
平成元	29,994	28,077	872	872	173	201	11	93.6	92.3	3.6
2	29,026	27,352	742	777	155	207	6	94.2	92.1	3.4
3	27,317	26,025	531	654	107	124	11	95.3	94.2	2.9
4	26,115	25,344	142	533	96	119	3	97.0	94.4	2.5
構 成 比	100.0	97.0	0.5	2.0	0.4	-	-	-	-	-

(注) 1. 就職率 =  $\frac{(C) + (E) + (F)}{\text{総 数}} \times 100$

2. ( ) 内の数字は、高等学校本科通信制課程への進学者で内数である。

ウ 就職者（進学者のうち就職している者及び専修学校等入学者のうち就職している者を含む。）

就職者は 655人（男 458人、女 197人）で、前年に比べ 134人減少した。就職率は 2.5%で、前年に比べ 0.4ポイント低下した。（表 1 6）

就職先を産業別にみると、第 2 次産業が 336人で全体の 51.3%を占めて最も多く、ついで第 3 次産業が 213人で 32.5%、第 1 次産業が 89人で 13.6%、その他が 17人で 2.6%となっている。（表 1 7）

また、就職先を県内と県外に分けてみると、県内への就職者は 573人で 87.5%を占めており、前年に比べると 0.7ポイント低下した。（表 1 8）

表 1 7 中学校の産業別就職者数

単位（就職者：人、構成比：%）

	総 数	第 1 次産業	第 2 次産業	第 3 次産業	そ の 他
昭和 5 0 年	1,448	82	797	537	32
5 5	1,171	43	675	412	41
6 0	1,362	28	735	550	49
6 3	1,217	47	561	556	53
平成 元	1,084	36	566	434	48
2	990	52	495	411	32
3	789	89	400	285	15
4	655	89	336	213	17
構 成 比	100.0	13.6	51.3	32.5	2.6

表 1 8 中学校の県内県外別就職者数

単位（就職者：人、構成比：%）

	総 数	県 内	県 外
昭和 5 0 年	1,448	1,161	287
5 5	1,171	949	222
6 0	1,362	1,190	172
6 3	1,217	1,078	139
平成 元	1,084	948	136
2	990	862	128
3	789	696	93
4	655	573	82
構 成 比	100.0	87.5	12.5

(2) 高等学校（通信制は除く）

ア 卒業生

平成 4 年 3 月の卒業生は 25,827 人（男 12,874 人、女 12,953 人）で、前年に比べ 496 人増加した。卒業後の進路別にみると、就職者は 10,266 人で 39.7%（3 年 41.2%）、進学者（就職して進学した者を含む。）は 9,423 人で 36.5%（3 年 35.0%）、専修学校等入学者は 5,179 人で 20.1%（3 年 18.2%）、その他（無業者、死亡、不詳）は 959 人で 3.7%（3 年 5.6%）となっている。（表 1 9）

イ 進学者

進学者は 9,423 人で前年に比べ 549 人増加した。進学率をみると 36.5%となり、前年より 1.5ポイント上昇した。進学先別にみると、大学学部が 5,967 人（男 3,648 人、女 2,319 人）、短期大学本科が 3,400 人（男 189 人、女 3,211 人）等となっている。（表 1 9）

表 1 9 高等学校の進路別卒業生数

単位（卒業生：人、進学率・就職率・構成比：%）

	総 数	進 学 者 (A)	専修学校 等 入 学 者 (B)	就 職 者 (C)	そ の 他 (D)	再 掲		進 学 率	就 職 率
						Aのうち就職 している者 (E)	Bのうち就職 している者 (F)		
昭和 5 0 年	19,472	6,613	...	9,739	3,120	141	...	34.0	50.7
5 5	20,467	6,355	2,568	9,991	1,553	68	121	31.0	49.7
6 0	18,603	5,633(-)	2,904	9,053	1,013	43	147	30.3	49.7
6 3	23,359	7,629(-)	4,087	10,153	1,490	44	174	32.7	44.4
平成 元	23,528	7,713(5)	4,467	9,961	1,387	28	206	32.8	43.3
2	25,149	8,202(3)	4,883	10,514	1,550	30	189	32.6	42.7
3	25,331	8,874(10)	4,610	10,449	1,398	25	176	35.0	42.0
4	25,827	9,423(6)	5,179	10,266	959	44	118	36.5	40.4
構 成 比	100.0	36.5	20.1	39.7	3.7	-	-	-	-

(注) 1. 就職率 =  $\frac{(C) + (E) + (F)}{\text{総 数}} \times 100$

2. ( ) 内の数字は、大学・短期大学の通信教育部への進学者で内数である。



ウ 就職者（進学者のうち就職している者及び専修学校等入学者のうち就職している者を含む。）

就職者は10,428人（男 5,272人、女 5,156人）で、前年に比べ222人減少した。就職率は40.4%で、前年より1.6ポイント低下した。  
（表19）

就職先を産業別にみると、第2次産業が5,315人で51.0%、第3次産業が4,976人で47.7%などであった。（表20）

また、これを職業別にみると、技能工・採掘・製造・建設作業者及び労務作業者が4,154人で39.8%を占め、ついで事務従事者が2,926人で28.1%、販売従事者が1,175人で11.3%などとなっている。

就職先を都道府県別にみると、県内が7,830人で75.1%となっているが、県外では愛知県1,546人（14.8%）、大阪府442人（4.2%）、東京都173人（1.7%）など2,598人で24.9%であった。県外への就職者の割合は、前年より1.0ポイント上昇している。  
（表21）

表 2 0 高 等 学 校 の 産 業 別 就 職 者 数

単位（就職者：人、構成比：%）

	総 数	第 1 次 産 業	第 2 次 産 業	第 3 次 産 業	そ の 他
昭和50年	9,880	189	4,022	5,659	10
55	10,180	142	3,972	5,931	135
60	9,243	104	4,775	4,264	100
63	10,371	66	4,555	5,624	126
平成元	10,195	48	5,195	4,846	106
2	10,733	31	5,668	4,945	89
3	10,650	27	5,423	5,041	159
4	10,428	36	5,315	4,976	101
構 成 比	100.0	0.3	51.0	47.7	1.0

（注）就職者には、進学者のうち就職している者及び専修学校等入学者のうち就職している者を含んでいる。



表 2 1 高 等 学 校 の 県 内 県 外 別 就 職 者 数

単位（就職者：人、構成比：%）

	総 数	県 内	県 外				
			計	愛 知 県	大 阪 府	東 京 都	そ の 他
昭和50年	9,880	6,845	3,035	1,813	645	141	436
55	10,180	7,278	2,902	1,837	563	97	405
60	9,243	6,753	2,490	1,434	449	96	511
63	10,371	7,975	2,396	1,546	429	85	336
平成元	10,195	8,012	2,183	1,408	373	99	303
2	10,733	8,357	2,376	1,506	407	108	355
3	10,650	8,100	2,550	1,613	409	172	356
4	10,428	7,830	2,598	1,546	442	173	437
構 成 比	100.0	75.1	24.9	14.8	4.2	1.7	4.2

（注）就職者には、進学して就職している者、専修学校等に入学して就職している者を含んでいる。